

英語学特論Ⅱ A

(春学期 / 2単位)

濱田 英人

●テーマ

人間の認知メカニズムと言語

●授業概要

本特論では、ことばと認識について知覚作用と認識作用の視点から考察する。具体的には知覚対象の認識から言語化に至る過程でどのような認知操作が関わっているのかについて理解を深める。我々は、対象物を知覚するとそれは目の網膜から脳内に取り込まれることで表象(representation)が生じ、それを言語化の対象としている。このことから言語は脳内現象であり、知覚対象の言語化には認知主体の一定の認知処理が必然的に関与している。その認知処理のメカニズムを明らかにすることによって言語の本質について理解を深める。

●到達目標

人間の知覚と認識のメカニズムについて理解を深める。

●授業計画

- 第1回：知覚と認識のメカニズム
- 第2回：メタ認知
- 第3回：人間の基本的認知能力
- 第4回：人間の概念形成のメカニズム
- 第5回：Figure/Ground 認知と言語
- 第6回：言語の意味の在り処
- 第7回：アフォーダンス理論
- 第8回：主体化
- 第9回：Perceptual Symbol Systems
- 第10回：空間認知と言語
- 第11回：文法化
- 第12回：人間の空間認知と言語
- 第13回：engaged cognition/disengaged cognition
- 第14回：言語の身体性
- 第15回：まとめ

●事前学習

予め指定された文献を読み、疑問点を整理して授業に参加する。

●事後学習

学修した概念の観点から各自の興味のある言語現象について考察する。

●成績評価

授業での発表、研究レポートで総合的に評価します。

●テキスト

Barsalou, L. W. (1999) "Perceptual Symbol Systems," *Behavioral and Brain Science* 22:577-660.

濱田英人(2016)『認知と言語—日本語の世界・英語の世界』開拓社, 東京

本多 啓(2005)『アフォーダンスの認知意味論』東京大学出版会

Langacker, Ronald W. (2008) *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*, Oxford: Oxford University Press.

Veenman, M. V. J., Bernadette, H. A. M., Van Hout-Wolters, and P. Affellerbach. (2006) "Metacognition and Learning: Conceptual and Methodological Consideration," *Metacognition Learning* 1, 3-14.

●参考書・参考資料等

授業の中で関連分野の文献について適宜指示する。

●備考

特になし

英語学特論Ⅱ B

(秋学期 / 2単位)

濱田 英人

●テーマ

世界の切り取り方とそれを表示する言語的装置

●授業概要

本特論では、前期の基礎研究を踏まえて、言語話者の事態認識の在り様と言語化の関係を具体的な言語現象を考察することによって明らかにする。具体的には、言語話者が基本的な認知能力を活性化して世界をどのように切り取っているかが個別言語を特徴付けていることを日本語と英語の言語現象を対照的に考察することによって明らかにする。

●到達目標

人間の事態認識と言語化の関係、また、個別言語を特徴付ける根源的基盤について理解を深める。

●授業計画

- 第1回：脳のメカニズム(能動態、受動態、中動態)
- 第2回：日本語の「被害受け身」のメカニズム
- 第3回：英語の受動態
- 第4回：日本語の「Vテイル」と英語の' be V-ing'
- 第5回：日本語の「た」の意味論
- 第6回：英語のテンス
- 第7回：日本語の「類別詞」の発達
- 第8回：日本語の「擬態語」の根源的基盤
- 第9回：英語の「可算名詞」「不可算名詞」の原理
- 第10回：存在表現の日英比較
- 第11回：知覚・認識と言語の語順
- 第12回：事態内参与者の言語化・非言語化のメカニズム
- 第13回：日英語の知覚構文
- 第14回：左脳・右脳の機能と言語
- 第15回：まとめ

●事前学習

予め指定された文献を読み、疑問点を整理して授業に参加する。

●事後学習

学修した言語現象を前期に学んだ認知操作の視点から考察する。

●成績評価

授業での発表、研究レポートで総合的に評価する。

●テキスト

Corballis, P. M. (2003) 'Visuospatial processing and the right-hemisphere interpreter,' *Brain and Cognition* 53, 171-176, Elsevier.

Gazzaniga, M. S. (2000) 'Cerebral specification and interhemispheric communication—Does the corpus callosum enable the human condition?' *Brain* 123, 1293-1326, Oxford University Press, Oxford.

濱田英人(2016)『認知と言語—日本語の世界・英語の世界』開拓社, 東京。

Hinds, John (1986) *Situation vs. Person Focus*.

くろしお出版, 東京

井川壽子(2012)『イベント意味論と日英語の構文』

くろしお出版, 東京

●参考書・参考資料等

授業の中で関連分野の文献について適宜指示する。

●備考

特になし。

英語学演習 I A

(春学期 / 2 単位)

時崎 久夫

●テーマ

英語形態論研究

●授業概要

英語形態論研究をテーマとし、英語の語の基本的な仕組みと他部門との関連について理解することで、英語についての考察を深め、さらに問題を見つけて探求して行くことを目標にします。

英語形態論の基本から応用までを、英語テキストを読みながら研究します。テキストの読解をもとに、参加者が内容を発表し、それに対する質問と応答、討議を行い、その具体的な方法について指導します。

●到達目標

英語形態論の基礎を学び、自分で研究テーマを見つける。

●授業計画

- 第1回 形態論と語
- 第2回 辞書
- 第3回 形態素
- 第4回 複合語
- 第5回 生産性
- 第6回 接辞
- 第7回 屈折
- 第8回 類型
- 第9回 普遍性
- 第10回 語と文
- 第11回 項構造
- 第12回 異形態
- 第13回 形態規則
- 第14回 接辞の順序
- 第15回 括弧付けの逆説

●事前学習

テキストの精読。

●事後学習

理解できなかったところを確認する。

●成績評価

発表 (30%) と質疑応答 (20%) およびレポート (50%) で評価します。

●テキスト

Rochelle Lieber, *Introducing Morphology*. Cambridge University Press, 2009.

●参考書・参考資料等

Andrew Spencer and Arnold M. Zwicky (eds.), *The Handbook of Morphology*. Wiley, 2001.

●備考

特になし。

英語学演習 I B

(秋学期 / 2 単位)

時崎 久夫

●テーマ

英語音韻論

●授業概要

英語音声学に続く英語音韻論をテーマとし、実践面に加え、理論的な考察をすることで、英語の音の仕組みについて理解を深め、さらに問題を見つけて探求して行くことを目標にします。

英語音韻論のうち、音節構造、リズム、強勢、弱化、音調について、英語テキストを読みながら研究します。テキストの読解をもとに、参加者が内容を発表し、それに対する質問と応答、討議を行い、その具体的な方法について指導します。

●到達目標

英語音韻論の基礎を学び、自分で研究テーマを見つける。

●授業計画

- 第1回 音節構造
- 第2回 リズム
- 第3回 語強勢
- 第4回 複合語
- 第5回 韻脚
- 第6回 韻律構造
- 第7回 強勢拍
- 第8回 音調
- 第9回 主調子音節
- 第10回 音調句
- 第11回 統語構造
- 第12回 主調子配置
- 第13回 音調句境界
- 第14回 音調と統語論
- 第15回 音調と談話構造

●事前学習

テキストの精読。

●事後学習

理解できなかったところを確認する。

●成績評価

発表 (30%) と質疑応答 (20%) およびレポート (50%) で評価します。

●テキスト

Phillip Carr, *English Phonetics and Phonology: An Introduction*. Wiley-Blackwell, 2nd edition, 2012.

●参考書・参考資料等

Peter Roach, *English Phonetics and Phonology*. Cambridge University Press, 4th edition, 2009.

●備考

特になし。

英語学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

濱田 英人

●テーマ

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●授業概要

・研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。
・分析の手順、論理展開、結論への導き方、また、修士論文の書式や体裁について指導する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：ガイダンス

第2回：研究計画の確認

第3回：研究進捗状況の報告（1）

第4回：研究進捗状況の報告（2）

第5回：研究進捗状況の報告（3）

第6回：研究進捗状況の報告（4）

第7回：研究進捗状況の報告（5）

第8回：修士論文執筆内容の指導（1）

第9回：修士論文執筆内容の指導（2）

第10回：修士論文執筆内容の指導（3）

第11回：修士論文執筆内容の指導（4）

第12回：修士論文執筆内容の指導（5）

第13回：修士論文執筆内容の指導（6）

第14回：春学期の成果報告

第15回：夏季休暇中の研究予定確認

●事前学習

先行研究を読み主張をまとめる。自己の主張との関係を明らかにする。

●事後学習

指摘事項に基づき、修士論文の執筆を進める。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の進捗状況により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英語学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

後藤 善久

●テーマ

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●授業概要

・研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。
・分析の手順、論理展開、結論への導き方、また、修士論文の書式や体裁について指導する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：ガイダンス

第2回：研究計画の確認

第3回：研究進捗状況の報告（1）

第4回：研究進捗状況の報告（2）

第5回：研究進捗状況の報告（3）

第6回：研究進捗状況の報告（4）

第7回：研究進捗状況の報告（5）

第8回：修士論文執筆内容の指導（1）

第9回：修士論文執筆内容の指導（2）

第10回：修士論文執筆内容の指導（3）

第11回：修士論文執筆内容の指導（4）

第12回：修士論文執筆内容の指導（5）

第13回：修士論文執筆内容の指導（6）

第14回：春学期の成果報告

第15回：夏季休暇中の研究予定確認

●事前学習

先行研究を読み主張をまとめる。自己の主張との関係を明らかにする。

●事後学習

指摘事項に基づき、修士論文の執筆を進める。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の進捗状況により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英語学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

時崎 久夫

●テーマ

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●授業概要

・研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。
・分析の手順、論理展開、結論への導き方、また、修士論文の書式や体裁について指導する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：ガイダンス

第2回：研究計画の確認

第3回：研究進捗状況の報告（1）

第4回：研究進捗状況の報告（2）

第5回：研究進捗状況の報告（3）

第6回：研究進捗状況の報告（4）

第7回：研究進捗状況の報告（5）

第8回：修士論文執筆内容の指導（1）

第9回：修士論文執筆内容の指導（2）

第10回：修士論文執筆内容の指導（3）

第11回：修士論文執筆内容の指導（4）

第12回：修士論文執筆内容の指導（5）

第13回：修士論文執筆内容の指導（6）

第14回：春学期の成果報告

第15回：夏季休暇中の研究予定確認

●事前学習

先行研究を読み主張をまとめる。自己の主張との関係を明らかにする。

●事後学習

指摘事項に基づき、修士論文の執筆を進める。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の進捗状況により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英語学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

濱田 英人

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。また、中間発表に向けて論点の整理を行い、指摘された事項を整理し、加筆修正する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：研究成果の報告

第2回：修士論文執筆内容の指導（1）

第3回：修士論文執筆内容の指導（2）

第4回：修士論文執筆内容の指導（3）

第5回：修士論文執筆内容の指導（4）

第6回：修士論文執筆内容の指導（5）

第7回：修士論文執筆内容の指導（6）

第8回：修士論文中間発表会の準備（1）

第9回：修士論文中間発表会の準備（2）

第10回：修士論文中間発表会予行

第11回：修士論文中間発表における問題点の整理

第12回：修士論文中間発表における問題点の修正

第13回：修士論文の仕上げ（1）

第14回：修士論文の仕上げ（2）

第15回：修士論文提出の最終報告

●事前学習

研究テーマの関係する論文や書籍を読み込み、自己の主張に取り込む。

●事後学習

指導事項に基づき加筆修正する。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英語学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

後藤 善久

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。また、中間発表に向けて論点の整理を行い、指摘された事項を整理し、加筆修正する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：研究成果の報告

第2回：修士論文執筆内容の指導（1）

第3回：修士論文執筆内容の指導（2）

第4回：修士論文執筆内容の指導（3）

第5回：修士論文執筆内容の指導（4）

第6回：修士論文執筆内容の指導（5）

第7回：修士論文執筆内容の指導（6）

第8回：修士論文中間発表会の準備（1）

第9回：修士論文中間発表会の準備（2）

第10回：修士論文中間発表会予行

第11回：修士論文中間発表における問題点の整理

第12回：修士論文中間発表における問題点の修正

第13回：修士論文の仕上げ（1）

第14回：修士論文の仕上げ（2）

第15回：修士論文提出の最終報告

●事前学習

研究テーマの関係する論文や書籍を読み込み、自己の主張に取り込む。

●事後学習

指導事項に基づき加筆修正する。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英語学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

時崎 久夫

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。また、中間発表に向けて論点の整理を行い、指摘された事項を整理し、加筆修正する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：研究成果の報告

第2回：修士論文執筆内容の指導（1）

第3回：修士論文執筆内容の指導（2）

第4回：修士論文執筆内容の指導（3）

第5回：修士論文執筆内容の指導（4）

第6回：修士論文執筆内容の指導（5）

第7回：修士論文執筆内容の指導（6）

第8回：修士論文中間発表会の準備（1）

第9回：修士論文中間発表会の準備（2）

第10回：修士論文中間発表会予行

第11回：修士論文中間発表における問題点の整理

第12回：修士論文中間発表における問題点の修正

第13回：修士論文の仕上げ（1）

第14回：修士論文の仕上げ（2）

第15回：修士論文提出の最終報告

●事前学習

研究テーマの関係する論文や書籍を読み込み、自己の主張に取り込む。

●事後学習

指導事項に基づき加筆修正する。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英米文学特論Ⅱ A

(春学期／2単位)

豊里 真弓

●テーマ

グローバル化と文学

●授業概要

テーマは、グローバル化と文学。グローバル化が進むなか、相互理解・共存への道を模索し続けている今日の世界において、どのような文学作品が生まれ、どのように読まれているのだろうか。そのような問いを軸に、様々な地域・文化圏における文学と諸問題について論じた批評を読み、世界文学を読むうえで役立つ用語や概念について整理することをねらいとする。また、越境や多文化主義的意識をテーマとする文学作品も並行して読む。

●到達目標

文学作品研究のための用語と視点を学び、現代社会と文学の関係について見解を深める。

●授業計画

※受講者のテーマ・関心に応じて適宜内容を変更することもある。

毎回、*Literature and Globalization* (2011) 所収の論文を1～2つずつ読み、400～600字の日本語でその内容を要約し、授業にて発表・提出。その後、疑問点の確認とディスカッションを行う。また、文学作品の担当箇所について各自発表を行い、提示された論点を中心にディスカッションを行う。第1回：イントロダクション（課題の説明）、各受講生の興味分野の確認

第2回：テキスト	Ch. 1 & 2	作品読解およびディスカッション
第3回：テキスト	Ch. 3 & 4	作品読解およびディスカッション
第4回：テキスト	Ch. 5 & 6	作品読解およびディスカッション
第5回：テキスト	Ch. 7 & 8	作品読解およびディスカッション
第6回：テキスト	Ch. 9、	作品読解およびディスカッション
第7回：テキスト	Ch. 1 0、	作品読解およびディスカッション
第8回：テキスト	Ch. 11&12	作品読解およびディスカッション
第9回：テキスト	Ch. 1 3、	作品読解およびディスカッション
第10回：テキスト	Ch. 1 4、	作品読解およびディスカッション
第11回：テキスト	Ch. 15&16	作品読解およびディスカッション
第12回：テキスト	Ch. 1 7、	作品読解およびディスカッション
第13回：テキスト	Ch. 1 8、	作品読解およびディスカッション
第14回：テキスト	Ch. 1 9、	作品読解およびディスカッション
第15回：		今学期のまとめ、受講生による期末課題発表

●事前学習

毎回の課題論文を読み、要約を作成。また、疑問点についてまとめる。

●事後学習

ディスカッションを通してわかったことをまとめ、自身の要約について指摘をうけた点を見直す。

●成績評価

平常点（授業の準備・毎回の要約課題・議論への参加）85%、
期末課題（Short Paper）15%

●テキスト

*テキスト・文学作品については、初回授業にて著書名、著者、出版社、版などを確認後、購入すること。

・ *Literature and Globalization: A Reader*, by Liam Connell & Nicky Marsh (Routledge, 2011)

・ 『文学から環境を考える エコクリティシズム・ガイドブック』（勉誠出版、2014）

・ 文学作品1冊

●参考書・参考資料等

適宜、授業にて紹介する。

●備考

特になし

英米文学特論Ⅱ B

(秋学期／2単位)

豊里 真弓

●テーマ

環境と文学

●授業概要

「英米文学特論ⅡA」でのグローバル化と文学というテーマに加え、「環境」という視点を取り入れ、引き続き世界と文学の関係について考えていく。最終的には、受講生各自が最も関心のあるテーマを一つ選択し、関連する論文についてまとめたり、そのテーマによる文学作品の分析に挑戦する。

●到達目標

特に環境文学作品を研究するための用語と視点を学び、現代社会と環境文学の関係について見解を深める。

●授業計画

※受講者のテーマ・関心に応じて適宜内容を変更することもある。

毎回、*Literature and Globalization* (2011) 所収の論文を1～2つずつ読み、400～600字の日本語でその内容を要約し、授業にて発表・提出。その後、疑問点の確認とディスカッションを行う。また、文学作品の担当箇所について各自発表を行い、提示された論点を中心にディスカッションを行う。第1回：イントロダクション（課題の説明）、各受講生の興味分野の確認

第2回：テキスト	Ch. 2 0、	作品読解およびディスカッション
第3回：テキスト	Ch. 2 1、	作品読解およびディスカッション
第4回：テキスト	Ch. 2 2、	作品読解およびディスカッション
第5回：テキスト	Ch. 23&24、	作品読解およびディスカッション
第6回：テキスト	Ch. 2 5、	作品読解およびディスカッション
第7回：テキスト	Ch. 2 6、	作品読解およびディスカッション
第8回：テキスト	Ch. 2 7、	作品読解およびディスカッション
第9回：テキスト	Ch. 2 8、	作品読解およびディスカッション
第10回：テキスト	Ch. 2 9、	作品読解およびディスカッション
第11回：テキスト	Ch. 3 0、	作品読解およびディスカッション
第12回：テキスト	Ch. 3 1、	作品読解およびディスカッション
第13回：	Short Paperについて①	（テーマの設定とリサーチの個別相談）
第14回：	Short Paperについて②	（ペーパーの構成と論文表現）
第15回：		今学期のまとめ、受講生による期末課題発表

●事前学習

毎回の課題論文を読み、要約を作成。また、疑問点についてまとめる。

●事後学習

ディスカッションを通してわかったことをまとめ、自身の要約について指摘をうけた点を見直す。

●成績評価

平常点（授業の準備・毎回の要約課題・議論への参加）75%、
期末課題（Short Paper）25%

●テキスト

*テキスト・文学作品については、初回授業にて著書名、著者、出版社、版などを確認後、購入すること。

・ *Literature and Globalization: A Reader*, by Liam Connell & Nicky Marsh (Routledge, 2011)

・ 『文学から環境を考える エコクリティシズム・ガイドブック』（勉誠出版、2014）

・ 文学作品1冊

●参考書・参考資料等

適宜、授業にて紹介する。

●備考

特になし

英米文学特論Ⅲ A

(春学期 / 2 単位)

ウィリアム・グリーン

●テーマ

English literary linguistics; stylistics

●授業概要

In this course we will take a stylistic approach to reading, analysing and understanding literature in English. We will begin with basic aspects of English grammar, such as the noun phrase, and explore some ways in which these have been used to create literary effects. We will then go on to look at text structures and vocabulary. We will look at a wide range of poems, short stories, and excerpts from longer works.

●到達目標

By the end of the course, students will have a good understanding of what is meant by 'stylistics'. They will have learnt how to analyse a literary text using the basic techniques of stylistic analysis.

●授業計画

Lesson 1 : Introduction

Lesson 2 : Study skills for English literature

Lesson 3 : Building a stylistics 'toolkit'

Lesson 4 : The noun phrase in literary prose: Pre- and post-modification

Lesson 5 : The noun phrase: Pronouns

Lesson 6 : The verb phrase in literary prose: Narrative time, story time & tense

Lesson 7 : The verb phrase: Present tense, passive and non-finite forms

Lesson 8 : The clause in literary prose: Introduction

Lesson 9 : The clause: Main clauses and co-ordination

Lesson 10 : The clause: Subordination and the sentence

Lesson 11 : Text structure: Cohesion and coherence

Lesson 12 : Text structure: Information structure and ellipsis

Lesson 13 : Vocabulary: Register

Lesson 14 : Vocabulary: Collocation and semantic fields

Lesson 15 : Review and evaluation

●事前学習

A good introduction to the subject is: Gregoriou, C. (2009) *English Literary Stylistics*. Palgrave Macmillan.

●事後学習

Students are required to pursue their own study objectives on the basis of findings and knowledge in classes.

●成績評価

Students will be assessed on essays that they write during the semester.

●テキスト

Materials will be supplied by the instructor.

●参考書・参考資料等

Wales, K. (2011) *A Dictionary of Stylistics*. Routledge.

●備考

Entry requirements:

1. Intermediate-level English (Both spoken and written)
2. The course will be conducted in English. Students must be able to communicate in English well enough to participate in the course.

英米文学特論Ⅲ B

(秋学期 / 2 単位)

ウィリアム・グリーン

●テーマ

English literary linguistics; stylistics

●授業概要

In this course we will take a stylistic approach to reading, analysing and understanding literature in English. After reviewing material from the first semester, most of the second semester will be spent reading and analysing examples of literary prose, poetry and drama.

●到達目標

By the end of the course, students will be familiar with a range of analytical tools used in stylistics. They will have gained experience in analyzing a wide range of literary texts written in English.

●授業計画

Lesson 1 : Introduction

Lesson 2 : Foregrounding, deviation and parallelism

Lesson 3 : Style variation in texts

Lesson 4 : Sound, meaning and effect

Lesson 5 : Rhythm and meaning in poetry

Lesson 6 : Extended analysis of poetry

Lesson 7 : Discourse structure of drama

Lesson 8 : Speech acts, turn-taking and politeness

Lesson 9 : Assumptions, presuppositions and inferences

Lesson 10 : Fictional prose and point of view

Lesson 11 : Speech and thought presentation

Lesson 12 : Prose style

Lesson 13 : Extended analysis of prose style

Lesson 14 : The stylistics 'toolkit' revisited

Lesson 15 : Review and evaluation

●事前学習

A good introduction to the subject is: Gregoriou, C. (2009) *English Literary Stylistics*. Palgrave Macmillan.

●事後学習

Students are required to pursue their own study objectives on the basis of findings and knowledge in classes.

●成績評価

Students will be assessed on essays that they write during the semester.

●テキスト

Materials will be supplied by the instructor.

●参考書・参考資料等

Wales, K. (2011) *A Dictionary of Stylistics*. Routledge.

●備考

Entry requirements:

1. Intermediate-level English (Both spoken and written)
2. The course will be conducted in English. Students must be able to communicate in English well enough to participate in the course.

英米文学演習 I A

(春学期 / 2 単位)

佐藤 美希

●テーマ

イギリスの世紀末文学を読む

●授業概要

イギリス 19 世紀末に活躍したオスカー・ワイルド Oscar Wilde の戯曲 *Salome* を英語原文で読む。丁寧な精読を通じて、作品の解釈を深める。また、唯美主義といわれるワイルドの芸術性や、彼の芸術を生み出した 19 世紀末という時代についても理解を深める。

●到達目標

- ・作品の精読や背景知識の理解、先行研究の読解を通じて、作品について自らの解釈を作り上げることができる。
- ・作品の多様な読みの可能性を理解することができる。

●授業計画

※受講者のテーマ・関心に即して適宜内容を変更することもある。

- 第 1 回: Introduction
- 第 2 回: イギリス 19 世紀末という時代 — 受講者の発表と講義
- 第 3 回: イギリス 19 世紀末の文学 — 受講者の発表と講義
- 第 4 回: Oscar Wilde — 受講者の発表と講義
- 第 5 回: *Salome* 精読 — 文の多義性
- 第 6 回: *Salome* 精読 — 象徴
- 第 7 回: *Salome* 精読 — 間テクスト性
- 第 8 回: *Salome* 精読 — 人物造形
- 第 9 回: *Salome* 精読 — オリエンタリズム
- 第 10 回: *Salome* 精読 — 唯美主義
- 第 11 回: 発表当時のイギリスの書評
- 第 12 回: 英米での研究
- 第 13 回: 日本での研究
- 第 14 回: 日本の書評
- 第 15 回: レポート準備に向けた論点の確認、ディスカッション、まとめ

●事前学習

事前にテキストを精読し、疑問点や自分の考えをまとめておく。

●事後学習

学期末レポート作成を念頭に、授業や議論の内容と自分の論点を関連づけてまとめる。

●成績評価

毎回の予習・準備 30%、学期末レポート 40%、平常点 30%

●テキスト

Raby, Peter (ed.). *Oscar Wilde: The Importance of Being Earnest and Other Plays*. Oxford: Oxford University Press, 1995

●参考書・参考資料等

- ・山田 勝 (編) 『オスカー・ワイルド事典 — イギリス世紀末大百科』北星堂 1997
- ・出口保夫 『世紀末のイギリス』研究社 1996
- ・富士川義之・玉井 暉・河内恵子 (編) 『オスカー・ワイルドの世界』開文社出版 2013

●備考

特になし。

英米文学演習 I B

(秋学期 / 2 単位)

佐藤 美希

●テーマ

文学作品の翻訳・翻案について考える

●授業概要

英米文学演習 IA の授業内容を参考に、さらにオスカー・ワイルドの戯曲 *Salome* の複数の日本語訳や翻案を題材にして日本での受容について考える。トランスレーション・スタディーズの理論である foreignisation と domestication の概念などを用いて、外国文学作品の翻訳受容と変容について考察する。

●到達目標

日本での翻訳・翻案という観点から、トランスレーション・スタディーズの理論を援用しながら、文学作品の日本での受容について理解することができる。

●授業計画

- 第 1 回: Introduction
- 第 2 回: *Salome* の日本語訳考察 — 日夏耿之介
- 第 3 回: *Salome* の日本語訳考察 — 西村孝次、福田恆存
- 第 4 回: *Salome* の日本語訳考察 — 平野啓一郎
- 第 5 回: トランスレーション・スタディーズ
- 第 6 回: foreignisation と domestication
- 第 7 回: foreignisation と domestication の視点から *Salome* 日本語訳を考察
- 第 8 回: ‘rewriting’, ‘retranslation’ などの概念
- 第 9 回: 上記概念を用いて *Salome* 日本語訳を考察
- 第 10 回: 翻案
- 第 11 回: *Salome* の翻案 — 泉鏡花
- 第 12 回: *Salome* の翻案 — 谷崎潤一郎
- 第 13 回: ディスカッション
- 第 14 回: レポート作成に向けた論点の確認とディスカッション
- 第 15 回: まとめ

●事前学習

事前にテキストを読み、疑問点や重要と思われる点をまとめておく。

●事後学習

学期末レポート作成を念頭に、授業やディスカッションの内容をもとに自分の論点と関連させてまとめる。

●成績評価

毎回の予習・準備 30%、学期末レポート 40%、平常点 30%

●テキスト

配布資料も含め、適宜指示する。

●参考書・参考資料等

- ・Munday, Jeremy, *Introducing Translation Studies*, 3rd Edition, London and New York: Routledge, 2012
- ・ジェレミー・マンデイ / 鳥飼玖美子監訳『翻訳学入門』みすず書房、2009
- ・Venuti, Lawrence, *The Translator's Invisibility*, 2nd Edition, London and New York: Routledge, 2008
- ・Williams, Jenny and Chesterman, Andrew, *The Map: A beginner's guide to doing research in translation studies*, Manchester: St. Jerome, 2002
- ・Hutcheon, Linda, *Theory or Adaptation*, London and New York: Routledge, 2012
- ・リンダ・ハッチオン / 片渕悦久・鴨川啓信・武田雅史 (訳) 『アダプテーションの理論』晃洋書房 2012

●備考

特になし

英米文学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

佐藤 美希

- **テーマ**
研究計画を確認し、修士論文を執筆する。
- **授業概要**
 - ・研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。
 - ・分析の手順、論理展開、結論への導き方、また、修士論文の書式や体裁について指導する。
- **到達目標**
研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。
- **授業計画**
 - 第 1 回：ガイダンス
 - 第 2 回：研究計画の確認
 - 第 3 回：研究進捗状況の報告 (1)
 - 第 4 回：研究進捗状況の報告 (2)
 - 第 5 回：研究進捗状況の報告 (3)
 - 第 6 回：研究進捗状況の報告 (4)
 - 第 7 回：研究進捗状況の報告 (5)
 - 第 8 回：修士論文執筆内容の指導 (1)
 - 第 9 回：修士論文執筆内容の指導 (2)
 - 第 10 回：修士論文執筆内容の指導 (3)
 - 第 11 回：修士論文執筆内容の指導 (4)
 - 第 12 回：修士論文執筆内容の指導 (5)
 - 第 13 回：修士論文執筆内容の指導 (6)
 - 第 14 回：春学期の成果報告
 - 第 15 回：夏季休暇中の研究予定確認
- **事前学習**
先行研究を読み主張をまとめる。自己の主張との関係を明らかにする。
- **事後学習**
指摘事項に基づき、修士論文の執筆を進める。
- **成績評価**
毎回の準備作業の質、及び修士論文の進捗状況により評価する。
- **テキスト**
特になし
- **参考書・参考資料等**
研究テーマに応じて指示する。
- **備考**
特になし

英米文学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

豊里 真弓

- **テーマ**
研究計画を確認し、修士論文を執筆する。
- **授業概要**
 - ・研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。
 - ・分析の手順、論理展開、結論への導き方、また、修士論文の書式や体裁について指導する。
- **到達目標**
研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。
- **授業計画**
 - 第 1 回：ガイダンス
 - 第 2 回：研究計画の確認
 - 第 3 回：研究進捗状況の報告 (1)
 - 第 4 回：研究進捗状況の報告 (2)
 - 第 5 回：研究進捗状況の報告 (3)
 - 第 6 回：研究進捗状況の報告 (4)
 - 第 7 回：研究進捗状況の報告 (5)
 - 第 8 回：修士論文執筆内容の指導 (1)
 - 第 9 回：修士論文執筆内容の指導 (2)
 - 第 10 回：修士論文執筆内容の指導 (3)
 - 第 11 回：修士論文執筆内容の指導 (4)
 - 第 12 回：修士論文執筆内容の指導 (5)
 - 第 13 回：修士論文執筆内容の指導 (6)
 - 第 14 回：春学期の成果報告
 - 第 15 回：夏季休暇中の研究予定確認
- **事前学習**
先行研究を読み主張をまとめる。自己の主張との関係を明らかにする。
- **事後学習**
指摘事項に基づき、修士論文の執筆を進める。
- **成績評価**
毎回の準備作業の質、及び修士論文の進捗状況により評価する。
- **テキスト**
特になし
- **参考書・参考資料等**
研究テーマに応じて指示する。
- **備考**
特になし

英米文学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

佐藤 美希

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。また、中間発表に向けて論点の整理を行い、指摘された事項を整理し、加筆修正する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：研究成果の報告

第2回：修士論文執筆内容の指導（1）

第3回：修士論文執筆内容の指導（2）

第4回：修士論文執筆内容の指導（3）

第5回：修士論文執筆内容の指導（4）

第6回：修士論文執筆内容の指導（5）

第7回：修士論文執筆内容の指導（6）

第8回：修士論文中間発表会の準備（1）

第9回：修士論文中間発表会の準備（2）

第10回：修士論文中間発表会予行

第11回：修士論文中間発表における問題点の整理

第12回：修士論文中間発表における問題点の修正

第13回：修士論文の仕上げ（1）

第14回：修士論文の仕上げ（2）

第15回：修士論文提出の最終報告

●事前学習

研究テーマの関係する論文や書籍を読み込み、自己の主張に取り込む。

●事後学習

指導事項に基づき加筆修正する。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

英米文学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

豊里 真弓

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

研究テーマについて先行研究の成果を踏まえ、幅広い視点から考察し、質の高い修士論文が執筆できるよう指導する。また、中間発表に向けて論点の整理を行い、指摘された事項を整理し、加筆修正する。

●到達目標

研究テーマに関する主要な論文等を読み解き、先行研究の成果を踏まえた上で自己の論点や主張を明確にし、且つ、理論的妥当性を有する修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回：研究成果の報告

第2回：修士論文執筆内容の指導（1）

第3回：修士論文執筆内容の指導（2）

第4回：修士論文執筆内容の指導（3）

第5回：修士論文執筆内容の指導（4）

第6回：修士論文執筆内容の指導（5）

第7回：修士論文執筆内容の指導（6）

第8回：修士論文中間発表会の準備（1）

第9回：修士論文中間発表会の準備（2）

第10回：修士論文中間発表会予行

第11回：修士論文中間発表における問題点の整理

第12回：修士論文中間発表における問題点の修正

第13回：修士論文の仕上げ（1）

第14回：修士論文の仕上げ（2）

第15回：修士論文提出の最終報告

●事前学習

研究テーマの関係する論文や書籍を読み込み、自己の主張に取り込む。

●事後学習

指導事項に基づき加筆修正する。

●成績評価

毎回の準備作業の質、及び修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし

●参考書・参考資料等

研究テーマに応じて指示する。

●備考

特になし

言語教育と機器A

(春学期 / 2単位)

フィリップ・ラドクリフ

●テーマ

ICT Tools for Teachers of English

●授業概要

This course includes a wide range of useful technology related skills and tools which are applicable in the classroom and various approaches to using technology in the classroom, such as planning and designing Treasure Hunts and Webquests (including making rubrics for evaluating students). Students will use, evaluate and review many Net Resources that are designed for teachers and learners on the English language. Students will also learn about Cloud Computing and will learn how to find and use valuable teaching tools. In essence, this course will teach where to find online resources that can be used with students, or that students can use on their own both in and out of the classroom.

●到達目標

Students will learn where to find resources on the Internet and how to evaluate websites. Students will also experience using the Moodle Course Management system as a user and as an instructor.

●授業計画

Week 1: Introductions and assessment of student needs (questionnaire)
Week 2: Uploading documents and sound files on Moodle
Week 3: Learning how to evaluate websites: Website Review(1)
Week 4: Treasure Hunt (1)
Week 5: Treasure Hunt (2)
Week 6: Treasure Hunt (3): Rubrics
Week 7: Webquest (1)
Week 8: Webquest (2)
Week 9: Webquest (3)
Week 10: Website Review (2)
Week 11: Website Review (3)
Week 12: Cloud Computing (1)
Week 13: Cloud Computing (2)
Week 14: Blogs
Week 15: Podcasts

●事前学習

Students should go to the website and follow any links to prepare for the next class.

●事後学習

Students should review and then do any homework before the next class meets. Students need to keep a journal of their learning.

●成績評価

Grading: Timely completion of assignments (50%) and quality of work (50%)

●テキスト

No Text

●参考書・参考資料等

References: <http://moodle.org>

●備考

Homework must be completed using the following website : <http://mdl.sapporo-u.ac.jp/rado>

言語教育と機器B

(秋学期 / 2単位)

フィリップ・ラドクリフ

●テーマ

ICT Tools for Teachers of English

●授業概要

This course includes a wide range of useful technology related skills and tools which are applicable in the classroom and various approaches to using technology in the classroom, such as planning and designing Treasure Hunts and Webquests (including making rubrics for evaluating/students). Students will use, evaluate and review many Net Resources that are designed for teachers and learners on the English language. Students will also learn about Cloud Computing and will learn how to find and use valuable teaching tools. In essence, this course will teach where to find online resources that can be used with students, or that students can use on their own both in and out of the classroom.

●到達目標

Students will learn where to find resources on the Internet and how to evaluate websites. Students will also experience using the Moodle Course Management system as a user and as an instructor.

●授業計画

Week 1: Introduction to Moodle
Week 2: Setting up a course on Moodle – the basics
Week 3: Choosing Modules (Blocks and Activities)
Week 4: Uploading files on Moodle
Week 5: Adding Activities (1) – Labels, composing text pages
Week 6: Adding Activities (2) – Linking to file and websites: creating sound files
Week 7: Adding Resources (1) – Forums, Journals and Wikis
Week 8: Adding Resources (2) – Questionnaires and Choice
Week 9: Adding Resources (3) – Creating Glossaries and Assignments
Week 10: Adding Resources (4) – Making Quizzes and Grading
Week 11: m-Learning (1) – Theory and practice
Week 12: m-Learning (2) – iPads in the classroom(apps)
Week 13: m-Learning (3) – Smartphones in the classroom (apps)
Week 14: Final Project Review (1) – Moodle course
Week 15: Final Project Review (2) – Moodle course

●事前学習

Students should go to the website and follow any links to prepare for the next class.

●事後学習

Students should review and then do any homework before the next class meets. Students need to keep a journal of their learning.

●成績評価

Grading: Timely completion of assignments (50%) and quality of work (50%)

●テキスト

No Text

●参考書・参考資料等

References: <http://moodle.org>

●備考

Homework must be completed using the following website : <http://mdl.sapporo-u.ac.jp/rado>

英語コミュニケーション演習 A

(春学期 / 2 単位)

アラン・ボゼア

●テーマ

Advanced Discussion

●授業概要

In this course the students will learn to hold discussions at an advanced level using logically-developed opinions and reasoning. This is a course for students who want to take their English to a higher level by demonstrating an ability to converse (and argue points) using deduction and deduction reasoning. Thus, critical thinking skills are an essential part of this course. Students will also learn how to present their opinions and support within a “communicative” framework (i.e. informal conversational setting).

The goals of the course are as follows:

- 1) to be able to express “strong” opinions on a variety of topics
- 2) to be able to support opinions with various types of support (experience, statistical, examples, etc.)
- 3) develop vocabulary needed to express ideas clearly and intelligently (working with descriptive adjectives)
- 4) to be able to think logically (through induction and deduction processes)
- 5) to be able to organize your ideas systematically (i.e. in an organized manner)
- 6) to learn language used for negotiating an opinion discussion

●到達目標

The primary aim of this course is to make students enhance their speech communication ability in English.

●授業計画

- Week 1: Introduction to discussion (What is a strong opinion? What is a weak opinion?)
- Week 2: Providing strong reasons (logic)
- Week 3: How we use descriptive adjectives in discussion
- Week 4: Connecting negative descriptive adjectives to general meanings (Topic - Social Networking Sites)
- Week 5: Giving negative personal experiences for negative descriptive adjectives
- Week 6: Conducting a negative survey (making questions to logically support a negative hypothesis/opinion)
- Week 7: Presentation of survey results (1st presentation/discussion)
- Week 8: Connecting positive descriptive adjectives to general meanings (Topic - Social Networking Sites)
- Week 9: Giving positive personal experiences for positive descriptive adjectives
- Week 10: Conducting a positive survey (making questions to logically support a positive hypothesis/opinion)
- Week 11: Presentation of survey results (2nd presentation/discussion)
- Week 12: Putting it all together – Role play/Discussion about Social Networking Sites (New expressions and vocabulary)
- Week 13: Introduction of Online Shopping Topic (negative and positive descriptive vocabulary with general meanings)
- Week 14: Personal experiences with Online shopping – negative and/or positive
- Week 15: Discussion in conversational context using new adjectives and discussion (negotiating) language

●事前学習

Students are required to prepare their material directed for classes.

●事後学習

Students are required to pursue their own study objectives on the basis of findings and knowledge in classes.

●成績評価

Students will be graded as follows: 40% Assignments/surveys 60% Role plays/discussions/presentations

●テキスト

1) The teacher will provide the material. *Students will need a binder/folder to keep the handouts for this class as well as a notebook.

●参考書・参考資料等

Referenced are to be announced in classes.

●備考

Entry requirements:

- Completion of an undergraduate degree
- Intermediate-level English (Both spoken and written)
- The course will be conducted in English. Students must be able to communicate in English well enough to participate in the course.

英語コミュニケーション演習 B

(秋学期 / 2 単位)

アラン・ボゼア

●テーマ

Advanced Discussion

●授業概要

In this course the students will learn to hold discussions at an advanced level using logically-developed opinions and reasoning. This is a follow-up course to the A course and it is intended for students who want to converse in English using a discussion “framework”. In other words, this is a course that focuses on discussing and debating opinions in a conversational setting. Critical thinking skills are an essential part of this course and students will be expected to present their arguments logically and in an organized manner. There are more topics in the B course than in A.

The goals of the course are as follows:

- 1) to be able to express “strong” opinions on a variety of topics
- 2) to be able to support opinions with various types of support (experience, statistical, examples, etc.)
- 3) develop vocabulary needed to express ideas clearly and intelligently (working with descriptive adjectives)
- 4) to be able to think logically (through induction and deduction processes)
- 5) to be able to organize your ideas systematically (i.e. in an organized manner)
- 6) to learn language used for negotiating an opinion discussion

●到達目標

The primary aim of this course is to make students enhance their speech communication ability in English.

●授業計画

- Week 1: Connecting negative descriptive adjectives to general meanings (Topic – to be decided by students)
- Week 2: Giving negative personal experiences for negative descriptive adjectives
- Week 3: Conducting a negative survey (making questions to logically support a negative hypothesis/opinion)
- Week 4: Presentation of survey results (1st presentation/discussion)
- Week 5: Connecting positive descriptive adjectives to general meanings (Topic – decided by students in week 1)
- Week 6: Giving positive personal experiences for positive descriptive adjectives
- Week 7: Conducting a positive survey (making questions to logically support a positive hypothesis/opinion)
- Week 8: Presentation of survey results (2nd presentation/discussion)
- Week 9: Putting it all together – Role play/Discussion about week 1 topic (New expressions and vocabulary)
- Week 10: Introduction of new Topic (negative and positive descriptive vocabulary with general meanings)
- Week 11: Personal experiences with new topic (week 10) – negative and/or positive
- Week 12: Discussion in conversational context using new adjectives and discussion (negotiating) language
- Week 13: Introduction of new Topic (negative and positive descriptive vocabulary with general meanings)
- Week 14: Personal experiences with new topic (week 13) – negative and/or positive
- Week 15: Discussion in conversational context using new adjectives and discussion (negotiating) language

●事前学習

Students are required to prepare their material directed for classes.

●事後学習

Students are required to pursue their own study objectives on the basis of findings and knowledge in classes.

●成績評価

Students will be graded as follows: 40% Assignments/surveys 60% Role plays/discussions/presentations

●テキスト

1) The teacher will provide the material. *Students will need a binder/folder to keep the handouts for this class as well as a notebook.

●参考書・参考資料等

References are to be announced in classes.

●備考

Entry requirements:

- Completion of an undergraduate degree
- Intermediate-level English (Both spoken and written)
- The course will be conducted mostly in English. Students must be able to communicate in English well enough to participate in the course.